

## あなたには、どんな「ストーリー」がありますか?

TOMODACHI Story Jam (デジタル・ストーリーテリング) for Youth with Disabilities

新型コロナウイルス感染症によって、私たちのコミュニティ、家族、そして私たち自身のありかたが大きく変わりました。これまでも存在していたバリアフリーの問題はさらに深刻化し、新たなバリアフリーの問題も生じてきました。障がいのある若者にとっては公私ともに新型コロナウイルス感染症によって新たな困難・チャンスが生まれました。

# TOMODACHI Story Jam(デジタル・ストーリーテリング) for Youth with Disabilities は経験共有とリーダーシップ を高めることを目的とした、8週間のプログラムです。

- **Brings together** Japanese and American college students and young professionals with disabilities.
- Collectively explores experiences in the time of COVID-19 through digital storytelling.
- **Gives space** for you to describe your pandemic experiences to a broader community.
- Provides opportunities to interact with peers from Japan and the U.S., and to learn about each other's cultures.

#### あなたのストーリーを聞かせてください!

- 障がいのある学生あるいは社会人として、新型コロナウイルスによってどのような困難を感じましたか?
- ・ コロナ禍で、自分についてどのような理解を深めましたか?また、どのように困難を乗り越えましたか?
- あなたの経験からどのようなメッセージを伝えたいですか?

#### What is digital storytelling?

Digital storytelling uses smart phones, tablets, and computers to amplify our voices and bring our stories to life. Connecting through stories is important, particularly in difficult times like a pandemic. Our stories can foster



connection with people all over the world!

### 応募締め切り 7月16日

プログラムへの<u>応募はこちらをク</u>リック、 またはQRコード より接続してください。



#### For more information or questions, contact:

Dr. Heike Boeltzig-Brown, Program Director Heike.Boeltzig-Brown@umb.edu



